



大谷地

子どもたちの健やかな成長を目指して

保健主事 法貴 敦子

先日、あるチャット SNS でメッセージを打とうとしたら、絵文字の横に「AI」というコマンドが出てきました。何気なく押してみると、何通りもの返信文例が出てくるではありませんか。それまでのチャットのメッセージを分析して、適した文を作るだけではなく、ぴったりのスタンプまで選べるようです。また、誤字を直したり、敬語か友達口調かを選んだりすることまでできます。ネットを介してのコミュニケーションは、これからどんどん「自分自身」の思考ではなく、「ネットに集められた情報の最適解」によるものになっていくのかもしれないなど、驚きと共に恐れを感じました。

9月3日付の北海道新聞によると、AIを利用したチャットGPTなどのアプリの利用が子どもの間で広がっているそうです。友達のように会話ができ、悩みや不安をアプリに相談する子も増えているとか。SNSは攻撃性の高い人もいてつながるのが怖いけれど、チャットGPTは、「うんうん。大丈夫だよ。」「そんなこと言われると気になるよね。」というように常に肯定し、気持ちに寄り添う言葉を返してくれるそうです。また、過去の相談内容も全て覚えているそうで、特に若年層に愛着の強さがみられるとのこと。

しかし、AIはあくまでも「情報の集合体」です。人間のように振る舞うことはできても、人間ではありません。学校や社会で、人と人が接するとき、そこには必ずマイナスの気持ちを伴う出来事が起こります。それらの出来事に対してどのように対応し、解決していくかを話し合い学んでいく中で、体とともに心が成長していくのだと思います。これから、どれほどの速度でAIが進化していこうとも、AIは「情報の集合体によるプログラム」であり、全て正しいわけではありません。ですから、できるなら嫌な出来事が起こったときには、AIよりもまず、生きている人間…保護者の皆様や学校にいる友達、教職員などに相談してほしいと思います。本校では、週に一度スクールカウンセラーも来校しています。誰も傷つかないバーチャルの世界ではなく、現実の世界の中で、悩み、傷つきながらも人と関わり合うことの楽しさや喜び、人の温かさを感じ、成長してほしいと願っています。

来月9日から始まる個人懇談では、本日配付した通知表の評価の根拠とともに、お子さんの学校での様子についてお知らせします。学校とご家庭が共に同じ願いをもち、協力して子どもたちを育むための大切な情報交換の場となるよう努力いたします。今後とも、大谷地小学校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

読書の秋

今月は、読書月間として様々な取組を行いました。図書館に先生方からのおすすめ本コーナーを設けたり、朝のスタートタイムに担任を入れ替えて読み聞かせ（わくわく読み聞かせフェス）をしたりしました。いつもとはちがう先生ということで、興味をもって読み聞かせを聞く姿が見られました。



9月の校外学習の様子

2日(火)	6年生	札幌芸術文化劇場 hitaru で「王子と少年」を鑑賞しました。
3日(水)	3年生	市役所へ行き、屋上から札幌市の街並みを眺め、札幌市の土地の利用の様子について学びました。
4日(木)	4年生	教育文化会館で「せかいいちのねこ」を鑑賞しました。
9日(火)	5年生	パールライスとメグミルクの工場見学をして、北海道の農業生産について学びました。
11日(木)	1年生	サンピアザ水族館へ行き、展示を楽しみました。また、地下鉄の利用の仕方や公共の場でのマナーについても学ぶ機会となりました。
12日(金)	2年生	校区のお店に探検に行きました。お店の人から実際の仕事について話を聞くことで、学習が深まりました。
25日(木)	4年生	青少年科学館へ行きました。プラネタリウムや常設展示を通して理科の学習の理解を深めました。

